

# 障がい者の歴史

# 今日お話しすること

- ・ ごくごく、かんたんな自己紹介
- ・ 孤独と、まちがった情報のこと
- ・ 抑圧とたたかう、この社会のこと
- ・ より正確な、人間観にたって生きていくこと

【ごくごく、かんたんな自己紹介】

1976年、昭和51年に訪れた梅雨のとき誕生

アバレスギの子、だったので逆子で生まれま  
した

背骨が自由すぎて湾曲が進みました

そして、手術

1日1時間だけ授業、プレミアムな特別待遇



分からないからついていけない

なんとかしようとおもった

中学、高校、大学、あとのまた大学

なんとかできたこと、となんともできなかつたこと

なんともできなかつたこと

||

孤独だつたこと

なんともできなかつたこと

||

まちがった情報を取りこんでいた

障がい者の歴史を話すこと、それは、

孤独と間違った情報とに、抗う（あらがう）



その歴史を話すこと、

## 話の聞きあい①

孤独だったときのこと

【孤独と、まちがった情報のこと】

1970年代、昭和46年ごろ

障がい者が公的サービスで生きるには入所施設しか選択肢がなかった

施設を作ること、施設に入ること、それは、  
福祉の前進だとされていた時代

# 区別と隔離

区別と隔離

||

孤独とまちがった情報



# 管理と規制

管理と規制

II

孤独とまちがった情報

区別と隔離と管理と規制が正しいとされた理由

孤独とまちがった情報が正しいとされたから

## 話の聞きあい②

まちがった情報を人にいわれたとき

【抑圧とたたかう、この社会のこと】

孤独とまちがった情報に多くの人は傷つきます

孤独とまちがった情報に支配されるとき、それは抑圧されている状態を指します



さまざまな抑圧について

私たちは、完全にかげがえのない存在であることを知って生まれてくるのだが、その認識を破壊しかねないほどの抑圧が社会にはたくさんある。そのうち、名付けられている抑圧の数々を見てみよう。

- ① **アダルティズム** すべての人々はみんな子どもだったにもかかわらず、子どもに対して何も考えてないとか、わからないとか、様々な侮辱を投げかける。この経済至上主義は「働かざるもの食うべからず」という価値観を底流に秘めたまま子どもを経済的に自立できないものと決めつけてくる。つまり、そこにあるものは、働いていないのだから何も言わないという抑圧である。これは障害者に対する抑圧と非常に似ている。
- ② **セクシズム (女性差別)** 人類の半分が女性であるにも関わらず、社会的にも、個々人の関係性でも女性は男性より劣っているとの扱いをされ続けている。女であるというだけで、同じ仕事をしていても賃金は男性の約半分であるし、様々な権利も女であるというだけで奪われ続けてきた。ほとんどの国で、女性たちは男性以上に働きながら、それに見合うだけの評価は全くなされていない。それどころか、割礼を始めとして様々な体に対する侵略がなされてきた。
- ③ **レイシズム (人種差別)** 肌の色が違うというだけで、黒人に対する大量虐殺を繰り返してきた白人の差別を始めとして、日本人のアジア人に対する差別など、世界は奴隷制を、レイシズムを使ってずっと維持してきたと言える。
- ④ **エイジズム** これは①のアダルティズムに反対の高齢者に対する差別である。人は年を取ることを非常に恐れるが、これはこのエイジズムに基づいているといえる。
- ⑤ **エブリバディイズム** これは障害者に対する差別である。障害を持つ人に対する差別は、すべての体は大多数の健常者のようであればならないというところからきている。
- ⑥ **クラシズム** すべての抑圧の根本にあるとも言われる大きな抑圧である。お金の有る無しで人の価値を計ってしまうことが社会的なシステムとなっている。
- ⑦ **メンタルヘルスサヴァイヴァに対する抑圧** これは感情に対する抑圧と非常に繋がっているのだが、泣くのを恐れたり、人前で人と違ったことをするのを恐れたりする抑圧がある。
- ⑧ **その他** 地域差別 (どこに生まれたかに対する抑圧) や、言語に対する抑圧など様々な抑圧、同性愛者に対する差別など、様々ある。

一人ひとりが、あるグループに属することで、  
その個人の特性によって傷つけられる仕組み

障がいは特性、である

障がいは、たまたま「あった」か「なかった」  
かだけの違いにすぎない

抑圧はそれ自体で力を持たない

抑圧が力を持つとき、それは抑圧を正しいものとして一人ひとり自分の内面に取り込んだとき

障がい者は何もできない人、ですよ？

障がい者は劣っている人、 ですよ？



障がい者は不幸な人、 ですよ？

社会からの抑圧とたたかうということは、この社会では孤独となり、それでも、まちがった情報をただしい情報に置き換えていくことだった

## 話の聞きあい③

抑圧とたたかっている自分のこと

**【より正確な、人間観にたって生きていくこと】**

一人ずつ孤独にさせ、まちがった情報で支配するのはこの社会の構造的な仕組み、である

孤独になるのはあなたであり、まちがった情報に支配されてしまうのはあのひとであるかも知れない

あなたはわたし、わたしはあなた、である

だからこそ、障がい種別を超えて、特性を超えて



誤解や偏見をひもといて知りあうこと

ひとが生きるための大切な一致点を見据えて

すべてのひとが連帯すること

なんども孤独になり、まちがった情報に支配  
されてしまった私たちができること

# 岡田健司

自立生活センターアークスペクトラム代表  
自立生活センター協議会（JIL）介助サービス委員会 委員長

連絡先：075-874-7356（fax兼）  
office-mail:okada.arcsp@gmail.com